



南五葉

教育目標 心おだやかな子の育成

3月号

神戸市立南五葉小学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/mgy-es>



若い力が輝いた冬季オリンピック

朝夕はまだ冷え込む日がありますが、時折吹く南風に本格的な春の到来が予感されます。

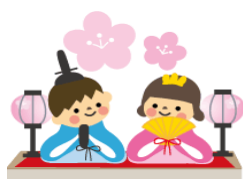
さて、2月に開催されたミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックでは、日本代表選手が世界の大舞台で大活躍し、私たちに大きな感動と勇気を届けてくれました。日本は金 5・銀 7・銅 12、合計 24 個のメダル を獲得し、過去最多級の成果となりました。

今年は特に、10代～20代前半の若いアスリートたちが世界を驚かせました。例えば、女子スロープスタイルで深田茉莉選手（19歳）が金メダルを獲得し、日本史上最年少の冬季オリンピック金メダリストとなりました。未来を切り拓いていく若い力のまぶしさに、胸が熱くなる思いでした。そして何より、私自身がテレビの前で涙したのが、フィギュアスケート・ペアの三浦璃来選手と木原龍一選手、通称「りくりゅう」ペアの演技です。ショートプログラムでは5位と出遅れながら、フリーではノーミスの渾身の演技で逆転優勝を果たし、冬季オリンピック日本史上初のペア金メダルをつかみ取りました。最後の最後まであきらめず、自分たちを信じて滑りきる姿は本当に美しく、心を揺さぶられました。演技が終わった瞬間、私も思わず涙があふれました。

オリンピックに出場した選手たちは、華やかな結果の裏で、見えないところで積み重ねた努力と悔しさ、そして挑戦を続ける強い心をもっています。その姿を見て、私は改めて「最後まであきらめない心」が人を大きく成長させるのだと感じました。南五葉小学校の子どもたちにも、「あきらめずにやり抜く強さ」を育ててほしいと願っています。

早いもので、もう3月となり、一年の締めくくりの時期を迎えました。本年度も、保護者の皆様をはじめ、地域の多くの方々に、さまざまな学校行事や教育活動において温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。子どもたちも多くの皆様との交流を通して、人と人との関わり方を学び、その大切さを実感する一年となりました。改めて深くお礼申し上げます。

学校長



逆転の 舞に涙や 春の風